※令和４年度以降入学生用

学校番号	411

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	公共（実教出版）						
副教材等	フォーラム公共 2026（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業は、皆さんの国がどのようにできているか、またどのようにシステムが決まっていくかを実際に学習します。直接このようなプロセスの決定にかかわるようなことはあまり多くないかもしれませんが、これからの人生で知らなければ損してしまう可能性が高いものです。しっかりと学習し、世の中の流れについていける人間になる準備をしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
現実社会の諸課題の解決に向けて、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身につけるとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	様々な項目を学習する中で、重要と思われる項目について滞りなく答えることができるか、また一つ一つの単語について、どのような場面で使用するものなのか、適切に選択することができる。	様々な課題に取り組む中で、その課題に対して必要な知識は何か、また、相手に対してどのような言葉や実例を使うことが適切なのか、判断し、実際に考査・レポートや口頭で答えることができる。	授業に対し、ノートや授業プリントを使用して授業をする際に、教員が話したことや、自分で興味を持ったことについて主体的に探究し、自分にとって一番わかりやすく、他の人にも理解がしやすい資料を完成しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共の扉	社会を作る私たち	a:自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 b:社会に参画する自立主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者の協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に積極的に参画しようとする。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		人間としてよく生きる	a:人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高めあうことのできる社会的な存在であること、伝統や文化・先人の取り組みや知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他社の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解する。 b:社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのありかた生き方についての自覚を深めようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など

※令和４年度以降入学生用

		他者とともに生きる	a:人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高めあうことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取り組みや知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 b:倫理的価値観の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者もともに納得できる解決方法を見出すことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としてのありかた生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、他者と生きることを前提として、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのありかた生き方についての自覚を深めようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		民主社会の倫理	a:各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、共同の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作るうえで必要であることについて理解している。 b:公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
	より良い社会の形成に参加する私たち	日本国憲法の基本的性格	a: 法や規範の意味及び役割などにかかわる現実社会の事柄や課題をもとに、憲法のもと、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停・解決することなどを通して、権利や事由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実をもとに協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などにかかわる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など

※令和４年度以降入学生用

２学期		日本の政治機構と政治参加	a:司法参加の意義などにかかわる現実社会の事柄や課題をもとに、憲法のもと、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成・維持されていくことについて理解している。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、日本の政治機構から発する多くの問題の解決に向けて事実をもとに協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などにかかわる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		現代の経済社会	a:雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、現代の経済社会の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など

※令和４年度以降入学生用

		日本経済の特質と国民生活	a:多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実･安定化などに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、日本経済の特質と国民生活に関する問題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的･多角的な考察や深い理解を通して、多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実･安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト･定期考査など	定期考査･レポート･授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		国際政治の動向と課題	a:国家主権・領域・我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の枠割りなどに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を起立し国際間の秩序を作り出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、国際政治の動向と課題の解決に向けて事実を基に協働したり考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 C:よりよい社会の実現を視野に、多面的･多角的な考察や深い理解を通して、国家主権・領域・我が国の安全保障と防衛、国債貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト･定期考査など	定期考査･レポート･授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など

※令和４年度以降入学生用

3学期		国際経済の動向と課題	a:経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、世界経済がより緊密に結びつき、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、国際経済の動向と課題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
	持続可能な社会の主役となる私たち	持続可能な地域を作るために	a:ここまでに学習して身につけた選択、判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用するとともに、本教科書を使用する中で習得した知識及び技能を活用している。 b:地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を気付くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実をもとに協働して考察・構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠をもって自分の考えを説明、論述している。 C:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、共に生きる社会に気付くという観点から課題を見いだし、諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度